

一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所 第19回調査研究成果発表会の開催について

一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所では、漁港、漁場、漁村における様々な要請に対して、先端的な研究・技術開発を行っております。

調査研究成果発表会は、研究所の活動を通じて得られた研究・技術等を一般の方々に情報提供することを目的として一年に一回開催するものです。

第19回調査研究成果発表会を下記のとおり開催しますのでお知らせいたします。

なお、発表会は会場での開催に加えて、オンラインでの生配信も行います。

記

- 主 催 : 一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所
- 後 援 : 水産庁
- 開催時期 : 令和7年11月28日(金) 10:00-17:00
- 開催場所 : 全電通労働会館 全電通ホール(東京都千代田区神田駿河台3丁目6)
- 参加費 : 無料
- 定 員 : 300名
- CPD認定 : (公社)土木学会継続教育(CPD)認定プログラム 認定番号[JSCE25-1246] 5.5単位※
※オンラインでの受講者は、CPD取得にあたり、100文字以上の受講レポートの提出が必要です。ただし、土木学会以外のCPDに単位を登録する際、受講したことがプログラムとして認められるかどうかは、各団体のルールに従うものとします。

■ プログラム:

第一部【論文発表】

- ①「水理模型実験に基づく異形ブロックを対象としたイスバッシュ係数の整理」:第1調査研究部 上級研究員 岩瀬 浩之
- ②「漁港施設の規模適正化」:第3調査研究部 研究員 葛西 隼平
- ③「漁港におけるCO₂排出量の試算」:第2調査研究部 研究員 上原 博志
- ④「海業振興に向けた取り組み状況と今後の課題について」:第3調査研究部 研究員 成田 伊沙哉
- ⑤(研究助成)「再エネ海域における鉛直混合の促進による気候変動に適応した漁場整備技術の開発」:福井県立大学 海洋生物資源学部 教授 瀬戸 雅文

第二部【パネルディスカッション】

「さあ考えよう!これからのみなとづくり、まちづくり」

～多様なニーズに対応したインクルーシブな漁港・漁村づくり～

基調講演

「これからの漁港・漁村を考えよう!」

片石 温美 氏 中央大学研究開発機構 教授(客員)

話題提供

「漁港・漁村づくりに関係した近年の動き」

林 浩志 漁村総研 第1調査研究部 部長

パネルディスカッション

コーディネーター 片石 温美 氏 中央大学研究開発機構 教授(客員)

パネリスト 塩谷 俊之 氏 新湊漁業協同組合 代表理事組合長

黒羽 秀昌 氏 逗子市市民協働部経済観光課 課長

伊藤 敏朗 氏 KAISO BANK 代表

李 銀姫 氏 東海大学海洋学部 海洋学研究科 准教授

中西 豪 氏 水産庁 漁港漁場整備部 計画・海業政策課 課長補佐

伊藤 靖 一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 常務理事

※ 詳細はHP(<https://www.jific.or.jp/?p=663>)をご参照ください。
ご参加のお申し込みは11月17日(月)迄にお願いします。



【お問い合わせ先】

(一財) 漁港漁場漁村総合研究所 担当 當舎、竹山、金刺
TEL: 03-3527-3010 FAX: 03-3527-3392
E-mail: kenkyu-happyo@jific.or.jp